

ベトナムが EC とデジタル変革で経済成長を加速

2025 年 3 月 11 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ベトナムが EC とデジタル変革で経済成長を加速

ベトナムは「国の躍進期」に向けた基盤を整備しており、デジタル変革と電子商取引（EC）が経済成長の重要な要素となっている。EC は伝統産業の変革を促し、新たな市場機会を生み出しているが、現行の法制度は急速な発展に対応できていない。消費者保護や国境を越えた取引に関する研究は進んでいるものの、EC の法的枠組みが経済発展に与える影響についての分析は不足している。そのため、法制度の整備が急務となっている。

EC の発展は、1940 年代の電報による取引に始まり、1960 年代には電子データ交換やクレジットカード決済が普及した。インターネットの登場により、1990 年代から世界的に普及し、ベトナムでも 1990 年代後半から急成長した。現在、EC は経済の重要な柱となっており、国内外の市場拡大や競争力向上に貢献している。特に、EC はデジタル技術の発展を牽引し、高度な人材育成や技術革新を促進する役割を担っている。

EC の発展に伴い、ベトナム政府はデジタル変革を加速させ、EC を経済戦略の中核に据えている。EC の普及により、生産性向上や取引の効率化が進み、企業と消費者双方に新たな利益をもたらしている。さらに、EC は伝統産業のデジタル化を促し、ベトナムの国際競争力を強化している。今後、EC の拡大は経済の持続的成長を支え、国際市場への統合を加速させると期待されている。

EC 市場の急成長に伴い、法的課題の解決が求められている。政府は EC に関する法整備を進め、消費者保護、税制、越境取引、データセキュリティに関する規制の強化を目指している。EC の成長を持続させるためには、企業の適切な法的枠組みの下での活動が不可欠であり、政府の政策支援とインフラ整備が鍵となる。

以上